



協体あさふじ

「藤沢市体育協会広報」第20号

発行日 平成4年3月31日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒252 藤沢市遠藤3172 秋葉台文化体育館内

「相模灘のつなびのつなび」

— スポーツの波の到来 —

県立体育センター所長 宮原 孝雄



二月二十三日、十六日間にわたるアルペールビル冬季五輪が終了しました。日本選手団は金メダル1、銀メダル2、銅メダル4という史上最高の成績を残しました。お茶の間のテレビの視聴率も、深夜の時間帯にもかかわらず、金メダルを獲得したスキートの複合団体が25%、伊藤みどり選手のフィギュア（フリー）が27.2%、と驚異的な数字でしたが、翌朝は更に31.6%に、はねあがりました。大相撲初場所の千秋楽は40%ですが、貴花田が優勝を決めた相撲は59.8%という前代未聞の視聴率を記録したと言われております。また、日曜日には、どのテレビ局も競ってスポーツ番組を組んでおります。

このようにスポーツは、現在最も安定した視聴率を誇っております。又日常会話の中心にもなっており、政党のイメージポスターにも使われるなど、まさに私達の生活の中にドツカと腰をおろした感があります。

スポーツは食料品や衣料品等と同じように、私達の日常生活から切り離せない生活必需品だと云われますがその言葉が素直にうなずける昨今です。

ご承知のとおり、現在の我が国は生活水準の向上、余暇時間の拡大に加え、人生八十年時代を迎え、社会が急速に変化しつつあります。そんな中で、人々は生きがいや、ゆとり、豊かさなど生活の質の向上を求め、学習、文化、スポーツなど余暇を利用した多様な活動へ積極的に参加するようになりました。とりわけ、スポーツは最近、健康・楽しみ・ふれあい・自己実現など取り組み方が多様化するようになり、人々の生涯を通じての文化活動の一環として生活の中にとけこみつつありますが、将来、ますますその傾向を強めるものと思われまます。

このような状況をふまえ、県としてはスポーツをより一層振興させる

ために、県民のスポーツ動向やニーズを的確にとらえた積極的な支援策の推進が必要と考えております。たとえば、誰もが日常の暮らしの中で、それぞれのライフスタイルに応じてスポーツを楽しむことができるようになるための多様なプログラムや情報の提供・相談体制・指導組織施設設備の整備などがあります。

二十一世紀には、スポーツを取りまく社会状況や人々のくらしとスポーツのかかわりも変わってくるでしょう。スポーツに求められる新たな機能を展望し、スポーツ振興をはかる目標と方策を示す長期的で幅広い視野に立った施策が必要となってきました。

当体育センターも平成十年の国体会場としての再整備と共に、現在の中枢的・先導的・広域的な機能のより純化と高度化をはかり、市町村のスポーツ活動を一層支援していくつもりです。

国体開催を契機に今後県民のスポーツに対する関心は一段と高まるでしょう。まさにスポーツ振興の好機です。

藤沢市においても準備委員会が発足しましたので、全市的に国体開催気運が高まるでしょう。相模灘のうねりのようなスポーツとくらしを結び大きな波を共に巻き起こしていきましよう。

種目協会の横顔



ゲートボール連合

藤沢市ゲートボール連合は、旧藤沢市ゲートボール協会（昭和56年8月創立）と、旧藤沢市レクリエーション協会ゲートボール部（昭和57年5月創設）が、市当局のご指導により統一され（昭和60年6月）に発足し8年目を迎えたGBの団体です。

現在の組織状況は108チーム114名が加盟登録しており、また公認ジャッジライセンス資格を有する人が総数581名で加盟者の50%に達しています。内訳は1級8名・2級37名・3級536名となっております。

連合の行事としては、年間春と秋の二回、全市的な大会をはじめ近年は地区大会、女子大会等も開催し、次年度からは総合選手権大会などの

開催を是非実現すべく考えています。

次に生涯スポーツの一つとしてGBの普及を図ることとし、まず職域団体等呼びかけた結果、農協・信金・火保・民協等それぞれにチームの結成を見るに至りました。就中、郵便局主催の簡易保険創業75周年記念事業としてGB大会を当連合の主管で開催させていただき、普及活動に大いなる成果をあげました。

次にGBを通じてふれあいの場を世交代の輪を拡げると共に、普及を図る計画を徐々に前進させて参りました。その結果学校団体については、小学校児童で新林小・中里小・高校生徒で湘南高・湘南台高等に普及され、ある学校では定期的に高齢者との対戦も計画実施されている



湘南高校文化祭ふれあいゲートボール大会

ようです。

次は当連合の加盟チームで県大会で入賞し、県代表に選出され上位の大会（ブロック大会以上）に出場したチームをご紹介します。昭和62年の世界大会に弥勒寺と四寿会・平成元年の全国スポーツ・レクリエーションGB大会に湘南やすらぎ・2年の全日本選手権大会に第三百寿会・南関東大会には元年に大富・2年に東部B・3年に第三百寿会がそれぞれの代表権を得ています。

最後に今後ともゲートボールのご理解と当連合にご協力をお願い申し上げます。

種目協会の横顔



ヨット協会

昭和39年のオリンピックに江の島にヨットハーバーができて以来、藤沢は日本中からヨットのメッカとし

て考えられてきましたが、ヨット協会が発足したのは平成3年、やっと2年目を迎えた新しい協会です。

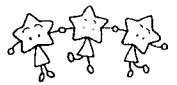
周囲を海に囲まれた日本では、マリンスポーツは至る所で自由に行えると思われていますが、漁業や本船航路との関係・潮流・水深・波など自然条件により実際に行える地域は限られます。オリンピックの他に世界選手権が2回、毎年数種の国内選手権が行われる江の島は、同時に5ヶ所のレース海面を確保できる絶好の海域です。しかしながら、藤沢市民にとって、環境・施設が揃っているにもかかわらず、今までヨットに接する機会が少なかったことも事実です。一つには、昭和46年に最後の募集が行われて以来、江の島ヨットハーバーの募集がないこと、そして市民セーラー同士の横の繋りがなかったことにもよります。

平成10年には藤沢で国体のヨット競技が実施され、ヨットとウインドサーフィンが行われることになりました。当協会は、多くの国際大会を経験したヨットとウインドのメンバーを主体に発足いたしました。これから国体に向けての準備はもちろんのことですが、生涯スポーツとしてのマリンスポーツの普及、振興に力を注いでいこうと考えております。用具を手に入れればすぐに海に出ら



夏休み親子ヨット一日体験教室

れ、海の上は自由に使えると思われがちですが、海上も陸上と同じく生活の場でもあるわけです。海で活動する人達と協調し、どんな時でも対処できるような技術と知識、すなわちシーマンシップをもったセーラーの育成が目標です。
初年度に親子体験ヨット教室、オーブンヨットレースを実施いたしました。これらの行事を今後発展させ多くの人に参加していただくことでジュニアからシニアまでのヨットライフを確立させ市民ヨットクラブを設立させることを目標としております。



第七回スポーツ人の集い

大盛會

教育委員会との共催による恒例のスポーツ人の集いが、例年より一カ月早い、平成四年一月十八日(土)藤沢市民会館小ホールに於て開催されました。藤沢市長・助役・市議会議長をはじめ多数来賓が出席され、第一部式典において、下記の方々が栄えある藤沢スポーツ賞を受賞されました。

第二部講演会では、ラクビーフットボール日本代表チーム前監督『宿沢広朗』氏をお招きし、
“あらゆるスポーツでも根本的に重要なことは、スポーツが地域に密着し、生活の一部としてスポーツをとらえたい”という貴重なご講和は、ラクビー人気と相まって560名もの聴衆を魅了しました。



宿沢広朗氏



藤沢スポーツ賞受賞者のみなさま

藤沢スポーツ賞受賞者のご紹介

《功労者》

花塚十四年(野球)

マスク越しに感じたことを適切に指導し、大人から子供まで正しい野球の普及につとめております。

《優秀選手》

太田陽子(陸上)

第46回国民体育大会陸上競技走り高跳び優勝・アジア選手権金メダル獲得

橋川美紀(卓球)

全日本卓球選手権大会ダブルス優勝

佐藤利香(卓球)

全日本卓球選手権大会シングルス・ダブルス共に優勝

森山登子(弓道)

第46回国民体育大会弓道競技近似的優

勝・遠的準優勝

杉山 愛(テニス)

全国高等学校テニス選手権女子シングルス優勝

大塚まり子(体操)

第46回国民体育大会体操競技少年女子の部優勝

中野 茂(ヨット)

第19回国際ファイアーボール級全日本ヨット選手権優勝

《優秀団体》

武田薬品湘南工場女子卓球部

日本実業団卓球リーグ戦前・後期優勝

県総体一般女子バレーボールチーム

第42回県総体一般女子の部優勝

《奨励賞》

女子団体型チーム(空手道)

神奈川県空手道選手権3年連続優勝

県下 競走大会

一月十九日に開催された三浦半島駅伝競走大会は、本市Aチーム三位、Bチーム十位の結果でした。最後までトップグループの熱戦は久しぶりの快走でした。その勢いで郡市対抗駅伝に望みましたが、途中先頭に出る健闘もありましたが、結果は残念ながら十位に終わりました。平均年齢二十才の若さのチームですので来年での上位入賞を期待したいものです。



県総体スキー選手のみなさま

藤沢市スキー選手団(県総体) 堂々5位入賞!

さる2月22日・23日両日に長野県野辺山ハイランドスキー場で開催された第43回県総体スキー競技において、本市大房英一総監督他八名参加のもと見事5位という成績を出しました。

本市はこのところ冬夏秋総合9位という不本意な成績となっておりませんが、今年はスキーを皮切りに総合でも第5位以内を狙う好位置にあり、今後の活躍が期待される所とあります。

平成三年度賛助会員

平成4年3月31日現在の会員の方々のご芳名を掲載させていただきます。

(個人会員のご芳名) (順不同・敬称略)

- 中山二郎・林良雄・伊東満・脇田文雄・中丸初男・鈴木克敏・土屋保三
- 宮治敦・加藤誠・久木田善蔵・中島哲郎・大津孝雄・安斉実・藤田慎一
- 小林俊輔・花塚十四年・長谷川忠勤
- 坂尻茂・寺岡武史・桑原隆行・山本義雄・山口雄司・瀬川進・日置寧二
- 杉山保・原弘之・鈴木明夫・根岸勇
- 木村英勇・岩崎只子・瀬戸邦幸・大島由紀夫・徳増久夫・川崎涉・石井浩・藤方富士夫・田中淳子・坂田隆
- 内田重郎・関水正文・山本幸男・木島英夫・岩田明・桐生昭代・宮本隆
- 宮治政弘・柴崎鉄雄・石井洋秀・糸井勝治・桜井浅之・小川明・二榎木幸雄・三保谷修二・河合正博・渡辺
- 英一・糸井勝平・古尾元氣・東昭一
- 波多野和敬・井上賢誠・関根宗四郎
- 関根芳郎・佐藤勝夫・鈴木成明・関水俊明・山崎智昭・西島一光・鈴木
- 明夫・山口武・薩美秀夫・栗原義夫
- 福原徹・沼上晃・前田明男・下村清
- 小林志光・大房英一・加藤三雄・小川竹次郎・高科明・栗原英昭・天野
- 節夫・上野陽一・藤田慎一・塚田茂
- 高杉正雄・前田蔵男・高橋陽之助・

- 松山建宇・木下裕功・白井一・三浦芳郎・岩淵元・藤田佳也・鈴木和夫
- 広瀬稔・小野孝一・荒井勝男・落合四郎・中里敏・志澤久夫・高取節男
- 勝呂不三夫・小林英見・杉山喜一郎
- 蝶名林睦・橋本篤治。滝内一夫・樹居祐三・鈴木文治・鹿島昇・小塚勝
- 伊藤喜三郎・上笹秀雄・瀬川宗明・山本敏秋・野口肇・広田正明・矢部
- 重信・桑原勇三・新戸利和・斉藤勝
- 渡辺博美・鈴木一郎・鈴木善行・小菅重矩・芝田俊介・小池保・露木栄
- 鈴木得郎・石井功・小泉勝彦・清水久雄・熊谷卓三・竹内俊樹・表隆行
- 笹川良夫・藤田正辰・長谷川英次・川路久男・大井正信・井上正一郎・
- 滝内正敏・山田勉・星八郎・館健三
- 鈴木作治・高橋清・小阪康司・校條
- 紳一・埜口史郎・嶋田和夫・林幹雄
- 土屋小夜子・松久保六男・吉岡隆子
- 瀬戸満里子・山田貢・平沢信雄・井上吉男・番場定孝・遠藤守・中嶋修
- 関根智治・鈴木恒夫・服部忠幸・小野隆弘・坂本良作・安斉久雄・宮治
- 敬二・西島真吾・有田茂・鴻野久雄
- 中尾是雄・藤塚久雄・唐沢邦之・高橋孝雄・蔵内隆良・高橋一順・比留
- 川久満・倉幸一・杉測武・金田育・鈴木敏之・木村三男・加藤賢治・浜
- 田徹・中村雅光・苅込辰男・沼上正
- 鬼沢義行・橋本宰俊・松本益雄・熊山喜三郎・設楽孝治・吉岡寛之・寺

- 沢護・金岡弘康・森井昌邦・盛晴海
- 平井浩一・三枝光二・花上誠一・野
- 沢菊三郎・武井英雄・大縫光宏・石
- 川昇・福島謙・宇田川智生・大谷浩
- 山田康章・青木好文・井上仁一。

(団体会員のご芳名) (順不同・敬称略)

- NTT藤沢支店・軟式庭球協会・杉
- 山スポーツ・山武ハネウエル株・富
- 士バルブバレー部・藤沢スキークラブ
- 亀井野テニスクラブ・プレス工業株
- 修武館伊澤道場・関水スポーツ・N
- OK株双笥会・柔道協会・株藤沢市
- 興業公社・三浦藤沢信用金庫・松下
- 精工株硬式テニス部・テニス協会・
- 野球協会・北西ロータリークラブ・
- 株富士鋸螺・ソフトボール協会・山
- 岳協会・バドミントン協会・有ディ
- ーオサービス・ラグビーフットボ
- ール協会・レストラン名古屋・有久
- 保本商事・有日の出接点製作所・藤
- 沢市役所福利厚生会・ゲートボール
- 連合・ミネベア株体育部・ヨット協
- 会・武田薬品株湘南工場・スキー協
- 会・空手道連盟・ハンドボール協会
- バイスパウム・アスペンスキークラブ
- 水泳協会・藤沢家庭婦人バレーポ
- ール連盟

(種目協会については、藤沢市略)

本年度もご入会くださいましてありがとうございます。おかげをもちまして個人21名団体45団体のご加入をいただき厚く御礼申し上げます。